

令和6年 3月定例会

令和6年度一般会計予算を否決

あらまし

令和6年3月定例会は、2月28日から3月25日までの27日間の日程で開催されました。市長から条例の制定・一部改正・廃止16件、令和5年度補正予算案5件、令和6年度予算案10件、人事案件7件、そのほか1件が提出されたほか、請願1件、議員提出議案5件を一部を除き各常任委員会に付託し、慎重に審査・審議を行いました。請願は不採択、議員提出議案5件と令和6年度一般会計予算は否決、その他の議案は原案のとおり可決・同意しました。本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

伊香保温泉浴場石段の湯の開館時間と利用料金を変更

伊香保温泉浴場石段の湯の営業時間を午前10時から午後8時までに変更します。利用料は値上げとなるほか市外料金が設定され、市民は大人が500円、小人・障がい者・高齢者が250円、市民以外は大人が800円、小人・障がい者・高齢者が400円となります。また、キャッシュレス対応の券売機が導入されます。

吾妻川公園の野球場を廃止

野球場としての位置づけを廃止します。廃止後のスペースは、吾妻川公園内の自由広場として引き続き使用できます。



石段の湯

市固定資産評価審査委員会の選任の同意

市固定資産評価審査委員の任期が、令和6年5月21日に満了するため、町田久氏、森田繁氏、眞庭裕一郎氏の再任を選任するもので、全員一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期が、令和6年6月30日に満了するため、佐藤陽子氏、狩野美喜子氏、小林久代氏の新任、浦澤廣子氏の再任を推薦するもので、全員一致で同意しました。

令和6年度予算

提案された一般会計予算案の主な内容

- ・広報しぶかわの発行回数が4月から月1回に減少するため、自治会連合会等支援事業の行政事務等委託料が減額となり、自治会事務のICT化と道路の維持管理に関する加算項目が新設されました。



本庁舎1階に設置された
こども家庭センター

- ・公共交通にかかわる経路検索および予約サービスを一体的に提供するシステムであるGunmaasを利用し、公共交通の利便性向上を図ります。
- ・こども家庭センターを設置し、子育て世帯に対する

支援体制を強化します。

- ・渋谷Payポイント不正取得が発覚した「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン事業」では、不正防止のためアプリから使い切りカードへ変更します。

一般会計予算を否決

自治会事務のICT化と道路維持管理に関する加算項目の根拠が不明確であること、渋谷Payポイント不正取得の再発防止対策が不十分であること等により一般会計予算は賛成少数で否決しました。

特別会計予算等は可決

各特別会計予算、事業会計予算はすべて原案のとおり可決しました。

議会が否決した一般会計予算は 再調整されぬまま市長専決処分で成立

新年度予算はどうなった

市長は、市政の停滞を避けるためなどを理由に、議会が否決した予算案を修正せず専決処分で成立させました。

専決処分とは

特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかと認めるときなどに、例外的に議会を通さず市長が決定することです。

一般的な対応は

議会からの指摘等に応じ修正した予算案を議会に再度提案し、議決を得ます。新年度に間に合わない場合、議決が得られるまでの間、必要最低限度の暫定予算を組むことが一般的です。

時間的余裕はなかったか

令和3年3月に新年度予算が否決された際、市長は数日中に再度議会を招集し、3月中に議決を得て成立させており、今回が「時間的余裕がないことが明らか」とは認められません。

市長は否決当日に専決処分の方針を早々に打ち出しており、市長の判断は議会軽視と言わざるを得ません。

討論

討論とは、議案等の採決を行う前に、賛成・反対の意見を述べることをいいます。今回は3人の議員が討論しました。

「令和6年度一般会計予算について」

賛成 反町 英孝 議員

令和6年度の一般会計予算は、「人口減少社会を見据えた未来戦略予算」を基本方針として、徹底した経費削減、目まぐるしく変わる社会情勢に対する効果的な予算配分に努めた予算である。

また、部局間での連携を図りながら、全庁一丸となって予算編成に取り組み、各種施策をバランスよく盛り込み、メリハリのある予算配分に努めた内容となっており、一定の評価ができる。

効率的な行財政運営に努めるとともに、市民すべての幸せを大切に育てる街「育都」として、渋川の輝かしい未来創造に向け、積極的な施策が推進されることを期待する。

反対 埴田 裕之 議員

・ 昨年9月実施のエコ旅キャンペーンで渋Payポイントの不正取得事件が発生した。今年1月の第二弾は不正取得対策を行わないまま実施された。当初予算に第三弾が計上されている。キャンペーン自体は賛成だが事業設計が中途半端で事件が再発しかねない状況である。

また、予算執行を宿泊施設に任せる誠は無責任な管理体制は容認できない。

- ・ 自治会長の負担が変わらなければ、自治会委託費は削減せず同額を支給し、ICT化や道路維持管理の加算は全自治会に均等に上乗せするべき。
- ・ 通学バス条例の改正を求めている現在の条例による予算に賛成できない。

反対 角田 喜和 議員

・ 国による年金給付の引き下げや医療・介護などの負担増など社会保障の連続的な切り捨てが行われてきた。自治体は国の悪政から市民生活を守る役割が求められる。

- ・ 東部学校給食共同調理場業務の民間委託に反対。直営で行うべき。
- ・ 木質バイオマス火力発電所建設に反対。
- ・ 学校給食費完全無償化の継続、医療費無料化の対象年齢を18歳までに拡大や、加齢による難聴者への補聴器購入助成制度創設などは評価できるが、国の言いなりで行政改革を進めるのではなく、正規職員の増員、職員定数の改善を行い、市民に寄り添う市政運営を求める。

新年度予算案を紹介します

育都の実現と新未来創造に重点

主な新規事業・重点事業

不登校対策ウォームアップ事業※

新規 **834万円**

児童生徒の居場所の確保、個別に学習支援を実施するため、校内教育支援センターを設置



こども家庭センター運営事業

新規 **1,354万円**

子育て世帯に対する相談、面接、指導等の体制の充実を図るため、こども家庭センターを設置



渋川駅前広場利活用モデル創出事業

新規 **822万円**

駅前広場を活用したにぎわいの創出や、地域の活性化を図る事業の提案・事業者を公募し、補助金を交付



定住者生活支援事業

970万円

婚姻等により新居での生活に伴う経済的負担を軽減するため、助成金を交付



令和6年度 各会計予算

区 分			予 算 額
一 般 会 計 (専 決 処 分)			359億9,300万円
特別会計	国民健康保険	事業勘定	90億8,498万円
		診療施設勘定	362万円
	後期高齢者医療		13億8,417万円
	介護保険		91億9,602万円
	農産物直売事業		222万円
	伊香保温泉観光施設事業		1億7,696万円
	小野上温泉事業		770万円
	交流促進センター事業		1,019万円
企業会計	水道事業	収益的支出	19億2,217万円
		資本的支出	11億7,264万円
	下水道事業等	収益的支出	26億2,895万円
		資本的支出	24億7,239万円